

現場で使える！感染対策 動画1 ～感染症対策の基礎～

気仙沼保健福祉事務所 成人・高齢班作成

研修の目的・構成

目的：介護・福祉現場で、職場の感染症研修の基礎となる内容を学ぶ
現場に合った感染症対策を実施できる

構成：

- 感染症対策の基礎（動画1）
- 具体的な感染症対策（動画2）
- 新型コロナウイルス感染症対策（動画3）

動画1の内容

- 適切な支援方法とは
- 感染症の基本
- 標準予防策
- 感染経路別感染対策



適切な支援方法とは

高齢者サービスの特徴と感染症

高齢者の特徴

- 感染症にかかりやすい
- 感染に気づきにくい

高齢者向けサービスの特徴

- 集団発生しやすい

→組織として、感染症を防ぐ取り組みが必要

適切な支援方法とは

- すべての推奨されているケア, 支援の方法には根拠がある
- リスクをゼロにすることは困難



現場に応じた感染症対策を考えること

感染症対策の基礎知識

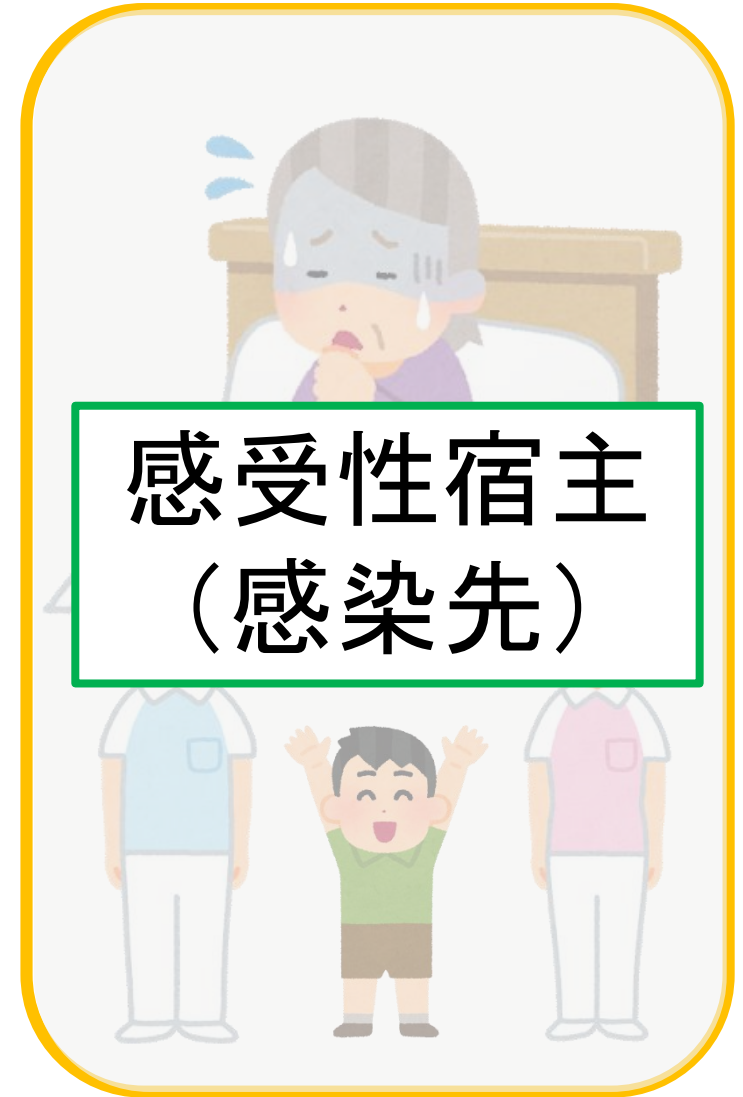
感染症とは

- 病原体が体に侵入して、症状が出る病気のこと
- 病原体の種類は細菌、ウイルス、真菌、寄生虫など

高齢者で起こりやすい感染症・注意が必要な感染症
細菌・・・結核, 誤嚥性肺炎(口腔内細菌), レジオネラ症
ウイルス・・・ノロウイルス感染症, 新型コロナウイルス感染症
インフルエンザウイルス感染症
寄生虫・・・疥癬

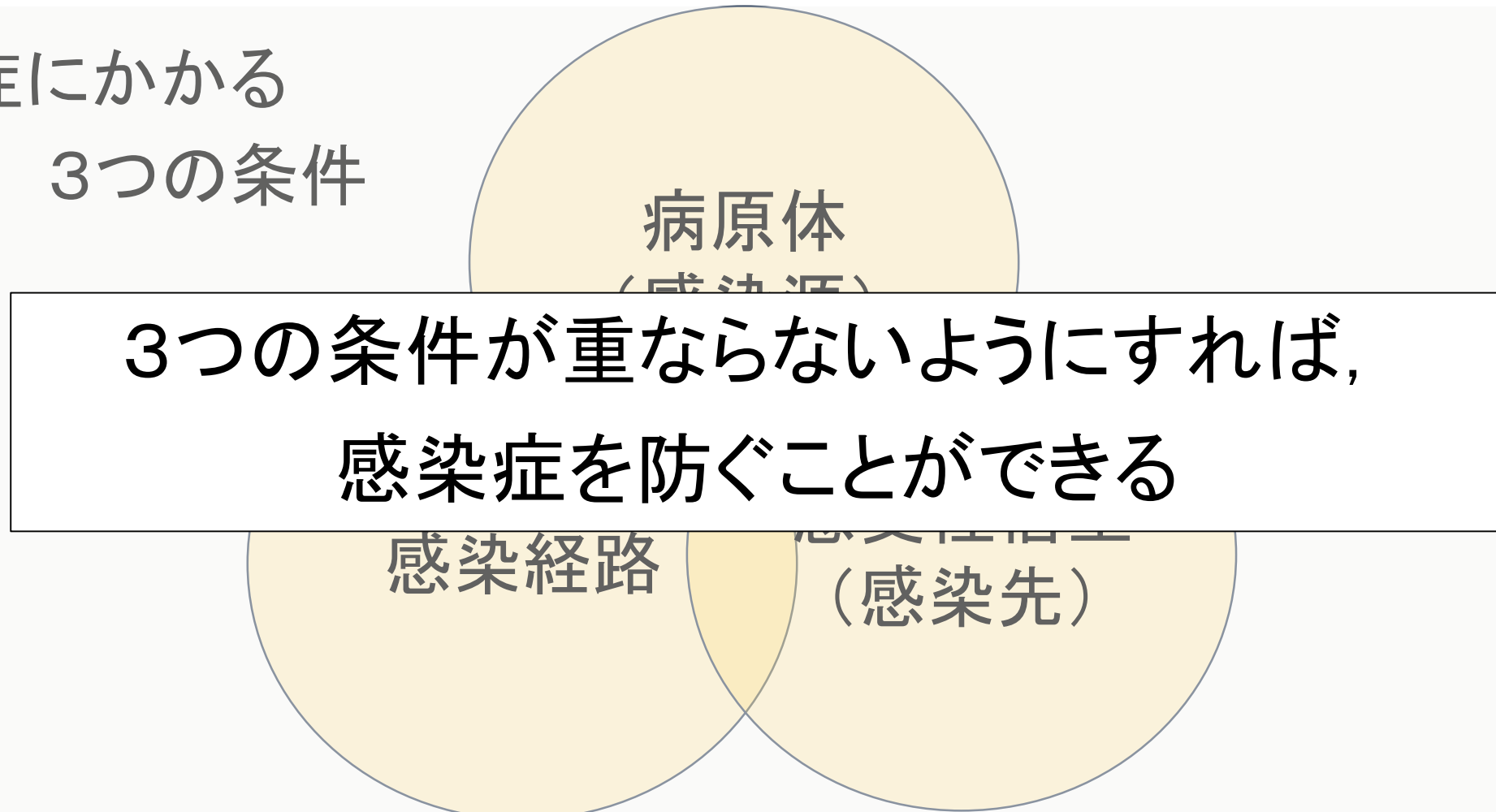
など

感染症成立の三要素



感染症が起こるには

感染症にかかる
3つの条件



→3つの条件が重なったときに限り、感染症にかかる

感染症成立の三要素



病原体 (感染源)

病原体の排除
消毒・殺菌する

特に重要

感染経路

感染経路の遮断

持ち込まない
持ち出さない
広げない



感受性宿主 (感染先)

抵抗力をつける

十分な栄養と睡眠
適度な運動
ストレスをためない
ワクチンの接種

標準予防策 (スタンダードプリコーション)

標準予防策の意味と方法

感染症の有無にかかわらず、

分泌物、排泄物、傷のある皮膚、粘膜は全て感染源

と見なして、予防策をとること



分泌物、排泄物、正常でない皮膚、粘膜には素手で触らない

感染経路別感染症対策

感染経路で見る感染症

①空気感染

②飛沫感染

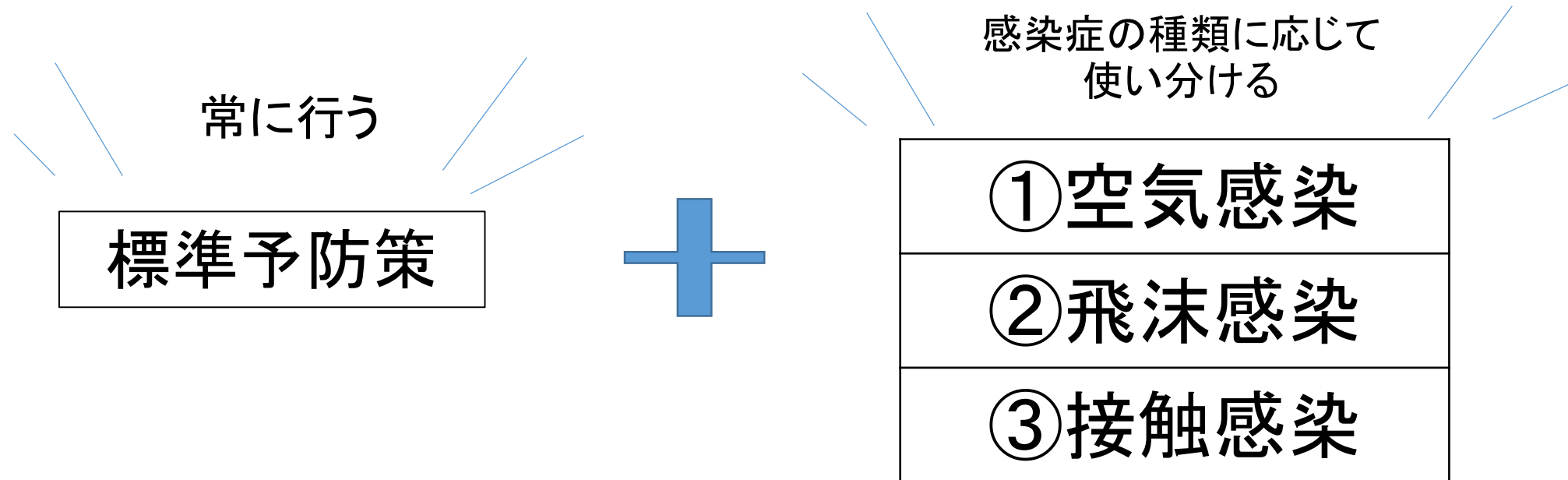
③接触感染

トピックス：飛沫核感染と飛沫感染の違い

＝病原体の大きさ

- 飛沫核感染…
病原体が長時間空気中に浮遊
- 飛沫感染…
病原体は重いのですぐ落ちる

感染経路別感染症対策



振り返り

- 高齢者の特徴
- 予防策はそれぞれの所属で検討を
- 標準予防策と感染経路別対策



ご視聴ありがとうございました。